



強制的な親族関係

ザクロの花の計画とウイグル人の子供たちの
強制同化

UHRP

UYGHUR HUMAN RIGHTS PROJECT

ئۇيغۇر كىشىلىك ھوقۇق قۇرۇلۇشى

ウイグル人権プロジェクトについて

ウイグル人権プロジェクト (UHRP) は、研究に基づくアドボカシーを通じてウイグル人の権利を促進する。我々は、国際人権基準に従ってウイグルの市民的、政治的、社会的、文化的、経済的権利を擁護するために、英語と中国語でレポートと分析を公開している。

著者について

「強制された親族」は、UHRPのシニアプログラムオフィサーであるElise Anderson博士によって研究され、書かれた。Anderson博士は二つの博士号を取得している。彼女はインディアナ大学ブルーミントン校で中央ユーラシア研究と民族音楽学の学位を取得し、民族誌的とアーカイブ手法の両方を使用してウイグル音楽と政治を調査した。彼女は2019年12月、UHRPに勤めている

謝辞

著者は、構想から執筆および編集の最終段階までの思慮深いレビューをくださったUHRPのリサーチディレクターであるHenrykSzadziewskiに感謝します。彼女はまた、UHRP開発責任者のReeceThompsonと上級プログラム責任者のPeterIrwinに、厳密な編集とコメントを提供してくださったこと、およびReeceThompsonとTashkenDavletがいくつかの一次資料の転写と翻訳を支援してくれたことに感謝します。

カバーはYetteSuによってデザインされた。



目次

I. 重要なポイント	1
II. 序章	1
III. ザクロ花の計画	2
IV. 東トルキスタンのPFPと政党国家の政策.....	6
V. 広範な影響	11

I. 重要なポイント

- 2021年9月、東トルキスタンのヤマndan地域のアヤチゲトゥ村の当局は、ウイグル人の子供たちと中国の他の民族の子供たちを「ザクロのペア」として「ザクロ花の計画」を正式に展開した。
- ザクロ花の計画は、ウイグル人と他の民族のメンバー、特に漢族との間「親族関係」を強要することにより、ウイグル人の生活を再設計するという中国共産党による以前の試みに基づいている。これらの「親族」関係は、政治的、経済的、社会的階層において漢人をウイグル人の上に置くという根本的な不均衡を表す。
- UHRPは、ウイグル人がこのプログラムに参加するしか選択肢がないことを深く懸念している。これは、彼らの文化的および言語的権利、ならびに家族生活、団結、およびプライバシーに対する権利を侵害する。
- 我々はこのプログラムに関する情報について、アナリストとジャーナリストに中国の国営メディアとソーシャルメディアを監視することを勧める。

II. 序章

2017年に東トルキスタンで大量収容行動が開始されて以来、外部の観察者は、ウイグル人の子供たちに対する人道的危機の影響について懸念を表明している¹。

ウイグル人の子供たちが危機の影響を深く受けていることを示す十分な証拠が出てきた。子どもたちは親から強制的に引き離され、孤児院や寄宿学校に制度化され、母国語で知識を習うことが許可されていない教育環境に置かれている。当局はまた、将来の世代のウイグル人の子供たちの誕生を防ぐことを目的とした政策を展開した。これは、2021年12月にウイグル裁判が、中国の政党国家の行動は虐殺のレベルであるという判決を下すに至った事実である²。

¹2つの用語の注記：1) 中華人民共和国 (PRC) と中国共産党 (CCP) の政府を、一党を強調する方法として「党国家」または「中国党国家」と呼ぶ。中国で統治し、国家と党の装置、政策、行動を区別することの難しさを強調する。2) ウイグル人の故郷を「東トルキスタン」と「ウイグル地域」と呼んでいる。ウイグル人の大多数は、「新疆ウイグル自治区」や「新疆ウイグル自治区」の地名よりもこれらの地名を好む。特定の出版物を参照する場合または官公庁では、「新疆ウイグル自治区」または「XUAR」や「新疆」などの関連フォームを使用している。

²Uyghur Tribunal, Summary Judgment as delivered at Church House Westminster, December 9, 2021, <https://uyghurtribunal.com/wp-content/uploads/2021/12/Uyghur-Tribunal-Summary-Judgment-9th-Dec-21.pdf>.

このレポートでは、ウイグル人の生活に介入し、再設計するための中国の弾圧が東トルキスタンで衰えることなく続いているという証拠を提示する。具体的には、中国の国営メディアやソーシャルメディアから集められた証拠を使用して、ザクロ花の計画（PFP）を紹介および議論する。PFPは、東トルキスタンのウイグル人の子供たちと中華人民共和国（PRC）全体の他の民族の子供たちとの間「親族関係」を促進するための公式的に地方レベルの支援であり、2021年9月にカシュガル県の町に導入された。2022年1月現在、この地域でのみ活動している。この地域の先手を検討することで、長い間厳重な監視と管理が行われてきた東トルキスタンの町や村での日常の経験を知る機会が得られる。

PFPは、地元の指導者がどのようにスローガンを採用し、政治的階層のトップが発表した政策をどう実施するか、そしてそれらの指導者がどのように統治手段を使用してウイグル人の生活を管理するかについての洞察を提供する。

III. ザクロ花の計画

2021年9月24日、東トルキスタンの公式メディアで、新しい「ザクロ花プロジェクト」の立ち上げの成功の記事を発表した(中国語: 石榴计划; ウイグル語: *Anar gülipilani*)。政府が運営する天山のウェブサイトに掲載され、記者のKang hao yangの記事によると、PFPはウイグル人の子供と中国全土の子供を「家族」としてペアにしている³。

PFPは、地元の指導者がどのようにスローガンを採用し、政治的階層のトップが発表した政策をどう実施するか、そしてそれらの指導者がどのように統治手段を使用してウイグル人の生活を管理するかについての洞察を提供する。

³ Kang Haoyan, "南疆小村开出 36 对'石H'" [36 pairs of 'pomegranate flowers' have bloomed in a small village in southern Xinjiang], *Xinjiang Daily*, September 24, 2021, <http://news.ts.cn/>

2021年10月、ラジオ・フリー・アジアのウイグル語番組は、中国の国営メディアの証拠に基づいてGulchehra Hoja氏が作成したPFPに関する簡単な番組を放送した⁴。その後、ウイグル語プログラムは、RFAの英語番組によって発行されたレポートの基礎となった。これは、これまで、唯一の非中国語を元にした報告になる⁵。一方、新疆ウイグル自治区のレポートは、他の報道機関や多数のWeChatアカウントによる引用で再利用及び引用された。これには、新疆ウイグル自治区共産党中央統一戦線の公式アカウント「Last Yi Gong_1E」（「ラストマイル」）の投稿も含まれる⁶。9月、天山の公式のWeChatアカウントにPFP参加者の写真を掲載した記事も投稿した⁷。

伝えられるところによると、2021年9月11日に名前のないWeChatの友達のサークルを介して配布された。プログラムの元の広告はまだ見つかっていない。しかし、新疆日報でKangの記事によると、広告は人気があった。9月24日の記事では、WeChatの投稿から2週間以内に合計36のザクロ花の「ペア」ができたことと記されている⁷。36人の地元の子供たちはカシュガル県の疏勒郡にあるヤマندان地域のアヤ・チゲトゥ村から来た。（この地域でのウイグル人が過半数であることを考えると、子供たちはウイグル人であると推測される）。彼らの「マツチ」（ほとんどが漢族であり、チベットから1人のチベット人の少年があった）は、中国の13の州、自治区、および都市から合計30の異なる場所から集まっている。入手可能な証拠によると、このプログラムは、新疆ウイグル自治区によって村の党書記に任命された朱鵬城の指導の下、アヤ・チゲトゥの村でのみ展開された。

[system/2021/09/24/036701428.shtml](https://archive.ph/vzonB) (archived at <https://archive.ph/vzonB>). Uyghur language translation by *Xinjiang Daily* available here: <http://uy.ts.cn/system/2021/09/24/036702125.shtml> (archived at <https://archive.ph/dRUEU>).

⁴ "Xitay «anar güli pilani» ni yolgha qoyup, Uyghur gödeklirini Xitay ölkiliridikiler bilen «tughqanlishish» qa mejburlighan" [China launches the "pomegranate flower plan," forces Uyghur children to "become family" with people in the Chinese provinces], *Radio Free Asia*, October 14, 2021, <https://www.rfa.org/uyghur/xewerler/anar-guli-pilani-10142021194705.html>.

⁵ "Chinese government targets Uyghur children with 'pomegranate flower' policy," *Radio Free Asia*, October 21, 2021, <https://www.rfa.org/english/news/uyghur/pomegranate-flower-program-10212021092622.html>.

⁶ "每个角落都有民族团结故事" [In every corner, stories of ethnic unity], 最后一公 [WeChat], October 6, 2021, archived at <https://archive.ph/DkVDU#selection-41.64-44.0>.

⁷ "南疆小村开出 36 对'石Li,'" Tianshan [WeChat], September 24, 2021, <https://archive.ph/JwWop>.

国営メディアソースでのPFPの報道は⁸、地方政府の承認を得ていることを示唆している。

Kangの記事によるとは、このプログラムは子供たちの間で「文化」を共有するための手段であることを意図している。特に中秋節のお祝いとして、中国の「兄弟」と「姉妹」が月餅を東トルキスタンの「親戚」に贈り物を送った。しかし、文化交流がプログラムの逆方向に流れるという兆候はない。言い換えれば、PFPに参加しているウイグル人の子供たちは、漢族や他の民族の子供たちにウイグル人の言語的、文化的、宗教的慣習について教えているようには見えない。

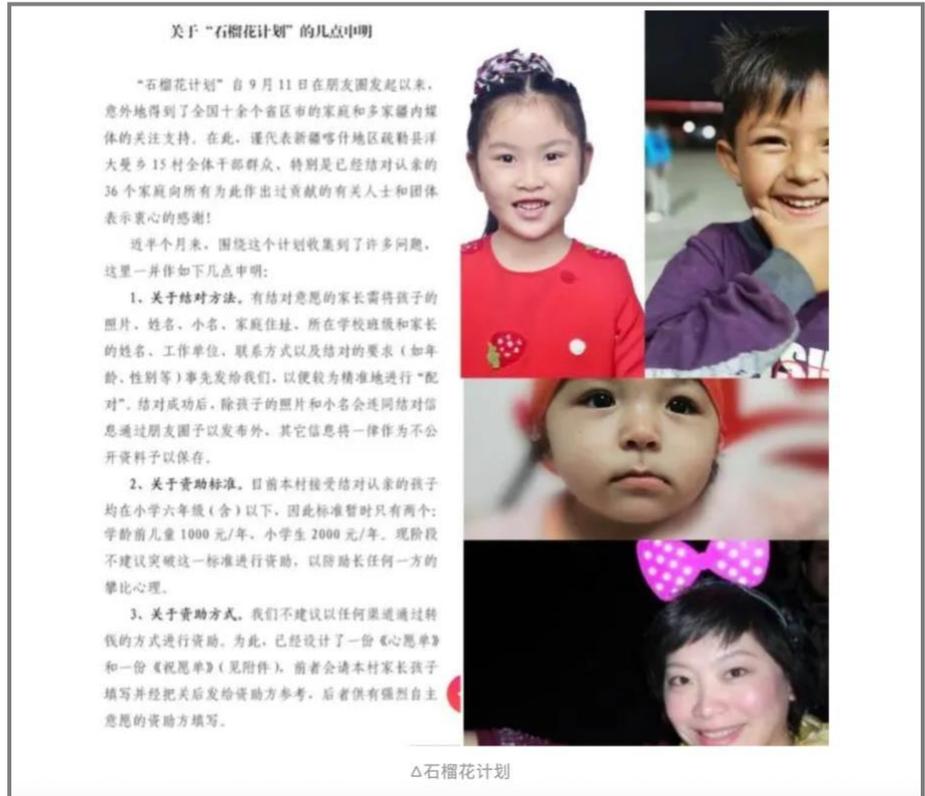
入手可能な情報によると、東トルキスタン以外のPFP参加者の親は、WeChatの友達のサークルの9月11日の広告を見て、自発的に子供たちをこのプログラムに登録した。ウイグル人の子供たちがプログラムへの参加のためにどのように選ばれたかについての明確な証拠は見つかってなかった。しかし、記事では、党主導の「貧困緩和」とPFPとの関連を示唆しており、この特定の地域は2020年まで「貧困を取り除く」ことに成功しなかったと述べている。さらに、PFPに参加している地元の子供たちは、経済的必要性、具体的には、漢族の兄弟姉妹からの「同情心」の必要性に基づいて選ばれた可能性があることを示唆している。「貧困緩和」についての言葉は、東トルキスタンでの権利侵害に対する婉曲的なカバーを長い間提供してきた。近年、同じ言葉が収容所の収容と強制労働の指標にもなっている⁹。2021年10月11日に上海市グループ (SMG) 研究所のWeChatアカウントに発行された週次レポートでは、PFPの「開発」と財務面に関する詳細情報を提供した。

国営メディアソースでのPFPの報道は、地方政府の承認を得ていることを示唆している。

⁸ A November 2, 2021, article posted to the WeChat account of a Wuhan University organization claims that a group of students visiting Ili Prefecture learned about the Pomegranate Flower Program put into place there. However, the numbers and other details they cite are lifted straight from the numbers referenced in state media reporting about the PFP in Ayagh Chigetugh village. See <https://archive.ph/S8j9l>.

⁹ For example, see Zhao Yusha, "Xinjiang relocates 460k residents," *Global Times*, July 7, 2018, archived at: https://www.pressreader.com/china/global-times-weekend/20180707/2815007520_07219. We suspect that the "relocation" of these residents via "poverty alleviation" schemes was cover for rights abuses by the party-state. See also: Adrian Zenz, "Beyond the Camps: Beijing's Long-Term Scheme of Coercive Labor, Poverty Alleviation and Social Control in Xinjiang," *Journal of Political Risk* vol. 7 no. 12, December 10, 2019, <https://www.jpolrisk.com/beyond-the-camps-beijings-long-term-scheme-of-coercive-labor-poverty-alleviation-and-social-control-in-xinjiang/>.

このレポートでは、PPFを「CivilizingXinjiang」（文化潤疆）として知られているものにリンクし、東トルキスタンを対象とした開発スタイルのプロジェクトを垣間見ることができる。または、プログラムに参加している非地元の家族が東トルキスタンの地元の子供たちに物的および財政的支援を提供しており、少なくとも1つの地方政府庁舎がプログラムに承認の印を与えていることを明らかにしている。



2021年10月11日にSMG 思Jf汇WeChat アカウントに公開された写真。

このプログラムが政治的側面を持っていることを明確にしているという証拠がある。たとえば、Kangの新疆日報の記事では、プログラム名「ザクロ花の計画」を、全国人民代表大会での習近平による2014年の声明に直接リンクしている。Kang はアヤ・チゲトゥの村の党書記に朱鵬城の発表を引用した。

習近平総書記は、すべての民族グループがザクロの種のように

¹⁰ 【文化潤疆】SMG 文化潤疆志愿◆周报◆三、四周 [(Civilizing Xinjiang) SMG "Civilizing Xinjiang" Volunteer Weekly Report, Weeks Three and Four], SMG 思Jf汇 [WeChat account], October 11, 2021, archived at <https://archive.ph/ZrO94#selection-49.25-99.1>

集まっていなければならないと述べた。新疆ウイグル自治区の子供たちと中国の他の州の子供たちが家族としてペアにするプロジェクトを開始した。子どもたちが幼い頃から深い友情を築き、祖国の大家族に住むことの温かさと親族を感じてくれることを願っている¹¹。

Xiによる2014年のスピーチ（以下でより詳細に議論される）を利用した朱氏の声明は、プログラムが党和国家機構のより高い上司を喜ばせるための地方レベルの試みを表している。公式のWeChatアカウントに投稿された記事でのPFPの他のレポートでは、この計画を、ウイグル人と漢民族の間「親族関係」を強化するための他の進行中の取り組みに明示的に関連を付けた。たとえば、共産党中央統一戦線のアカウントの投稿では、過去1年間における「統一」と「調和」の3つの例の1つとしてPFPが含まれている¹²。

表面的には、このプログラムは無害に見えるかもしれない。漢人とウイグル人がお互いに経済的支援を提供し、ウイグル人と漢人の子供たちが友達になることは確かに良いことかもしれない。

しかし、ウイグル人、カザフ人、その他のチュルク人イスラム教徒が小さな違反に対する懲罰的措置に直面している東トルキスタンの現在の環境では、ウイグル人が政党国家計画への参加を拒否することは考えられない。私たちは、ザクロ花の計画が同化の手段にすぎず、したがってウイグル人の文化的および言語的権利、ならびに家族生活、団結、およびプライバシーに対する権利の継続的な侵害であることを深く懸念している。

公式のWeChatアカウントに投稿された記事でのPFPの他のレポートでは、この計画を、ウイグル人と漢民族の間の「親族関係」を強化するための他の進行中の取り組みに明示的に関連を付けた。

IV. 東トルキスタンのPFPと政党国家の政策

入手可能な証拠は、PFPと東トルキスタンのより広い政治的文脈との間に非表面的なつながりを示唆している。この最も明確な例の1つは、ザクロ花の計画という名前にある。ザクロ、特にその種子は、この地域と中国の国民統一の遍在する象徴となっている。ザクロの種は、2014年5月にXiが北京で開催された第2回新疆ウイグル自治区ワークショップでスピーチを行ったときに明らかに政治的な言葉になった。

¹¹ Kang, "新疆小村开出 36 对'石li.'"

¹² "像 榴 一 样 抱 在 一 一 一 新 疆 各 族 干 众 中 一 年" [Holding each other tightly like pomegranate seeds—this year in the eyes of cadres and people of all ethnic groups in Xinjiang], UFWD Magazine [WeChat account], September 29, 2021, archived at <https://arc.hive.ph/MdiQ1#selection-45.64-48.0>.

新疆ウイグル自治区のすべての民族に、「ザクロの種のように」団結できるように、「相互理解、尊敬、寛容、感謝を示し、互いに学び、助け合う」よう促した¹³。

同じスピーチで、「新疆ウイグル自治区の住民」（すなわち、ウイグル人、カザフ人、および他の地元のチュルク人、過半数のイスラム教徒のグループ）が自分たちを中華民族の一部と見なすことの重要性を強調した。また、政治的指令としての「民族混合」の名の下各民族の間の交流、バイリンガル教育などで民族意識を低下する必要がある¹⁴。

ザクロの種子は、2014年以来、中国全体の「団結」の比喩として使用されているが、ザクロをテーマにした宣伝スローガンと画像が2017年に登場し始めた東トルキスタンでは、比喩は特定の関連性と遍在性を帯びてきた。Xiは、2017年3月の全国人民代表大会の会議や、同年10月の第19回全国人民代表大会の前の演説などで「ザクロの種のように」という言葉を繰り返し使用し続けている^{15,16}。この比喩を特徴とするプロパガンダの看板が東トルキスタン周辺に広く表示され、ウイグル人の役員であるエルキン・トゥニヤズは、2019年に国連のスピーチで比喩をこう語った。

幸と不幸を分かち合い、改革と発展は平等、団結、調和、相互支援の結果である。それらはザクロの種と同じようにしっかりと結びついている¹⁷。

アヤ・チゲトゥ村で発表された2021年のプログラムが、そのような重要な政治的象徴の名前を冠していることは、偶然の一致ではないでしょう

¹³ "Central government pledges better governance in Xinjiang," *Xinhua*, May 30, 2014, https://www.chinadaily.com.cn/china/2014-05/30/content_17552753.htm.

¹⁴ James Leibold, "Xinjiang Work Forum Marks New Policy of 'Ethnic Mingling,'" *Jamestown, China Brief* 14 (12), June 19, 2014, <https://jamestown.org/program/xinjiang-work-forum-marks-new-policy-of-ethnic-mingling/>. The concept of "ethnic mingling" or "ethnic consolidation" has long been a goal of the party-state, as reflected in the influential work of scholars and policy makers such as Ma Rong. A full examination of this concept is beyond the scope of the current briefing.

¹⁵ An Baijie, "'Cherish ethnic unity,' president tells Xinjiang," *China Daily*, March 11, 2017, https://www.chinadaily.com.cn/china/2017twosession/2017-03/11/content_28515253.htm.

¹⁶ Xi Jinping, "Secure a Decisive Victory in Building a Moderately Prosperous Society in All Respects and Strive for the Great Success of Socialism with Chinese Characteristics for a New Era," Speech before 19th National Congress, October 2017, available in English translation at International Department, Central Committee of CPC website, <https://www.idcpc.org.cn/english/cpcbrieff/19thParty/index.html>.

¹⁷ "Address at the 41st Session of the Human Rights Council," Aierken Tuniyaz (Erkin Tuniyaz), Member of the Standing Committee of CPC Xinjiang Uyghur Autonomous Regional Committee and Vice Governor of Xinjiang People's Government, delivered in Gene on June 25, 2019, available at https://www.hrw.org/sites/default/files/supporting_resources/aierken_tuniya_zi_hrc41.pdf. See also Sophie Richardson, "Pomegranate Propaganda," Human Rights Watch, June 26, 2019, <https://www.hrw.org/news/2019/06/26/pomegranate-propaganda-chinese-government-officials-un-speech>. Mr. Erkin's name has been rendered multiple ways in English-language press, including Erken Tuniyaz, Aierken Tuniyaz, Alken Tuniaz.

アヤ・チゲトゥ村で発表された2021年のプログラムが、そのような重要な政治的象徴の名前を冠していることは、偶然の一致ではないでしょう。



ウイグル地域、ウルムチ市、天山街のグランドバザールにあるザクロの像。中国語のテキストには、「民族グループの団結、1つの家族」と書かれている。2017年6月29日。写真提供：Dr. Timothy Grose

PFPの強要された親族関係は、一連の家庭訪問およびホームステイプログラムも反映している。これは、人類学者のDarren Byer氏が、2014年から現在まで東トルキスタンで展開されている「村を拠点とする幹部チームプログラム」と呼んでいる¹⁸。

¹⁸ Darren Byler, "China's Government Has Ordered a Million Citizens to Occupy Uighur Homes. Here's What They Think They're Doing," ChinaFile, October 24, 2018, <https://www.chinafile.com/reporting-opinion/postcard/million-citizens-occupy-uyghur-homes-xinjiang>.

これらの最初のものは訪惠聚プログラムであり、この危機について英語版のレポートでは「家族になる」と頻繁に報告された¹⁹。2014年から、公務員（漢人とウイグル人も同様）を町や村に派遣して政治活動を行った。2016年に囚人の家族を対象とした伴侶プログラムが開始され、その後、2017年に100万人以上の主に漢族の「家族幹部」をウイグル人の家に派遣する第3回家庭訪問プログラムが開始された。これらのホームステイプログラムは、人間による監視のプロジェクトとして効果的に役立っている。幹部は、「子供は嘘をつかないので、家族の宗教的慣習や日常生活について子供に尋ねるように明確に指示されている²⁰。」

ホームステイプログラムは制度化された階層を強化し、それによって漢人はウイグル人の「親族」に対して社会的、政治的、文化的支配の場所を維持している。いくつかの直接の報告では、ホームステイプログラムがウイグル人、特に女性と子供たちの性的虐待やその他の虐待も助長していることを示唆している²¹。

FFPにおける漢人とウイグル人の子供たちの間の文化的な「交流」の一方向の流れは、東トルキスタンのウイグル人の子供たちのための「バイリンガル」教育モデルの単一言語の性質に似ている。

¹⁹ *Fanghuiju* (訪惠聚) is a shortened form of "访民情、惠民生、聚民心", which literally translates as "Visit the People, Benefit the People, and Bring Together the Hearts of the People." For more on the program, including primary-source handbooks in Chinese, see "'Hundred Questions and Hundred Examples': Cadre Handbooks in the *Fanghuiju* Campaign," Xinjiang Documentation Project [University of British Columbia], no date, last accessed January 10, 2022, <https://xinjiang.sppga.ubc.ca/chinese-sources/cadre-materials/cadre-handbooks/>.

²⁰ "XX 单位开展"四同""三◆"f11动工作手册" [Launching the "Four Together" "Three Sends" Initiative Work Unit XX Handbook], (2018): 3, hosted at <https://livingotherwise.com/wp-content/uploads/2018/10/%E2%80%9C%E5%9B%9B%E5%90%8C%E2%80%9D%E4%B8%89%E9%80%81%E6%B4%BB%E5%8A%A8%E6%89%8B%E5%86%8C.pdf>. The "four together" of the initiative are eating together, living together, laboring together, and studying together. The "three sends" (i.e., what cadres will give to Uyghur families) are warmth, law, and policy. See also Darren Byler, "China's Government Has Ordered a Million Citizens to Occupy Uighur Homes."

²¹ For one example, see "Male Chinese 'Relatives' Assigned to Uyghur Homes Co-sleep With Female 'Hosts'," *Radio Free Asia*, October 31, 2019, <https://www.rfa.org/english/news/uyghur/cosleeping-10312019160528.html>.

PFPにおける漢人とウイグル人の子供たちとの間の文化的な「交流」の一方向の流れは、東トルキスタンのウイグル人の子供たちのための「バイリンガル」教育モデルの単一言語の性質に似ている。母国語で子供たちを教育するウイグル人の権利は、過去数十年にわたって著しくなくなり、2004年以降特に加速している。この地域で「バイリンガル」教育の新しい段階が展開されるにつれて、ウイグル語の使用が減少した。事実上、教育システムは、若いウイグル人の心と精神に党の良い印象を与えるための主要な場所になった。これは、UHRPが過去10年間に広範囲にわたって文書化した現象である²²。2022年の時点で、東トルキスタンの学校制度にはウイグル語の特権の余地がなく、中国はウイグル人の子供たちを強制的に同化させるために莫大な資源を投資し続けている。PFPのようなプロジェクトがウイグル語と文化よりも中国語と文化の特権を強化することは驚くべきで破壊的である。

おそらく、中国の標的とされたウイグル人の子供たちの同化の最も顕著な例は、大量収容の開始後に拘留された親の子供たちを収容するために建てられた孤児院や他の施設の形である²³。2017年だけでも、カシュガル県の1つの郡で、ウイグル人の子供たちにフルタイムで生活するために合計18の新しい施設が建設された²⁴。それ以来、東トルキスタン内の既存の寄宿学校のシステムは拡大した。RFAの報告によると、2020年初頭まで墨玉県のすべての幼稚園が寄宿学校になった²⁵。2019年に東トルキスタンで強制労働を調査したところ、強制労働をされたウイグル人の子供たちは、両親が働いている間、州の保護プログラムに入れられた²⁶。中国政府の文書に基づいてAdrian Zenz氏がまとめた数字では、2017年以降、数十万人のウイグル人の子供たちが何らかの形で国家の保護になったと推定している。

PFPのようなプロジェクトがウイグル語と文化よりも中国語と文化の特権を強化することは驚くべきで破壊的である

²² For example, see Rustem Shir, "Resisting Chinese Linguistic Imperialism: Abduweli Ayup and the Movement for Uyghur Mother Tongue-Based Education," *Uyghur Human Rights Project*, May 16, 2019, <https://uhrp.org/report/resisting-chinese-linguistic-imperialism-abduweli-ayup-and-movement-uyghur-mother/>.

²³ Diaspora Uyghurs often refer to these institutions as "children's camps," owing to the way the institutions make Uyghur children as unfree as their detained adult relatives.

²⁴ Emily Feng, "Uighur children fall victim to China anti-terror drive," *Financial Times*, July 9, 2018, <https://www.ft.com/content/f0d3223a-7f4d-11e8-bc55-50daf11b720d>.

²⁵ "Boarding Preschools For Uyghur Children 'Clearly a Step Towards a Policy of Assimilation': Expert," *Radio Free Asia*, May 6, 2020, <https://www.rfa.org/english/news/uyghur/preschools-05062020125428.html>.

²⁶ Adrian Zenz, "Break Their Roots: Evidence for China's Parent-Child Separation Campaign in Xinjiang," *Journal of Political Risk* vol. 7 no. 7, July 4, 2019, <https://www.jpolarisk.com/break-their-roots-evidence-for-chinas-parent-child-separation-campaign-in-xinjiang/>.

2017年から2019年の間に、寄宿学校の子供の総数は76.9%急増した²⁷。

ウイグル人の子供たちを家族から引き離し、中国語が主流の言語である施設に子供たちを配置することの影響は、言語的および文化的に中国の文化への変容を確実にした。

PFPのような取り組みにより、学校でほぼ独占的に中国語の環境にすでにさらされている可能性が高い。さらにウイグル人の子供たちは、学校以外の時間にも漢語、文化、規範にさらされている。

V. 広範な影響

ウイグル人虐殺の規模と範囲に関する実証的研究では、この地域で展開する行動の影響を受けないウイグル人はほとんどいないことを示している。2017年以降、東トルキスタンでの中国共産党によるジェノサイドから、家族の絆を弱め、コミュニティの絆を断ち切り、ウイグル人の習慣、文化の世代間の伝達の機会を排除した。子供を含むすべてのウイグル人は、日常生活の最も親密である部分にさまざまな形で中国の侵入があり、深く不自由な生活を送っている。

この文脈では、地方レベルのザクロ花の計画は、ウイグルの文化と社会生活を破壊するための公式に認可された取り組みの一部である。共通言語としての中国語と中核としての党国家の愛に基づく強制的な取組である。私たちは、このプロジェクトにウイグル人の参加が非自発的であることを深く懸念している。国際条約の国民的および政治的権利に関する国際規約（ICCPR）の第27条および児童の権利に関する条約（CRC）^{28,29}の第30条は、ウイグル人などの民族が独自の文化や宗教を実践し、独自の言語を使用する権利を規定している。すべての文化、言語、慣習が平等に尊重される環境で生活すること 経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約（ICESCR）³⁰の第13条に記載されている（支配的な文化および言語に従属するのではなく）。

中国は、これらの各条約の署名者であり、ICESCRおよびCRCの締約国でもある

この文脈では、地元レベルのザクロ花の計画は、ウイグルの文化と社会生活を破壊するための公式に認可された取り組みの一部であると考えている[。]

²⁷ Adrian Zenz, "Parent-Child Separation in Yarkand County, Kashgar," Medium (blog), October 13, 2020, <https://adrianzenz.medium.com/story-45d07b25bcad>.

²⁸ International Covenant on Civil and Political Rights, adopted by UN General Assembly resolution 2200A (XXI) of December 16, 1966, entry into force March 23, 1976, <https://www.ohchr.org/en/professionalinterest/pages/ccpr.aspx>.

²⁹ Convention on the Rights of the Child, adopted by General Assembly resolution 44/25 of November 20, 1989, entry into force September 2, 1990, <https://www.ohchr.org/en/professionalinterest/pages/crc.aspx>.

³⁰ International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights, adopted by General Assembly resolution 2200A (XXI) of December 16, 1966, entry into force January 3, 1976, <https://www.ohchr.org/en/professionalinterest/pages/cescr.aspx>.

PFPの現在の到達範囲は狭いようであるが、私たちは、ウイグル人の基本的権利を侵害し、家族、文化、社会生活との関係を弱めるプログラムや政策を設計および実施する東トルキスタン全土の地方公務員について引き続き懸念を抱いている。PFPなどのプログラムは、ウイグル人を民族として破壊することを目的として形成された中国共産党のトップからの政治指令に直接影響を受けているようである。したがって、私たちはPFPを単独ではなく、中国のジェノサイドの構成要素として理解する必要がある。UHRPは、アナリストとジャーナリストが中国の国営メディアを監視して、ザクロ花プログラムと関連する証拠を確認することを強くお勧めする。また、社会組織と権利グループがこの証拠に基づいて、国内および国際的な分野でウイグル人の基本的権利を擁護することを奨励する。

PFPなどのプログラムは、ウイグル人を民族として破壊することを目的として形成された中国共産党のトップからの政治指令に直接影響を受けているようである。[.]



© 2021 Uyghur Human Rights Project
1602 L Street NW | Washington, DC 20036
+1.202.478.1920 | www.uhrp.org | info@uhrp.org

